



## 09 年夏山北海道山行報告書

期間 09 年 8 月 8 日(土)～16 日(日) 8/8、9、11、15、16 は移動日

目的: 名山を登る

山名: 後方羊蹄山・利尻岳・暑寒別岳・ニセコアンヌプリ

メンバー: CL 竹内幹雄、塚本英吾

### 10 日(月)晴れ 後方羊蹄山

5:05 登山口	10:30 頂上(1898m)～お鉢巡り
5:50 2 合目	12:10 9 合目
6:40 4 合目	13:14 6 合目
7:50 6 合目	14:15 2 合目
9:15 9 合目	15:00 登山口

#### 行動記録

8/8 午後 4 時に刈谷を車で出発舞鶴港に向かう。敦賀まで高速を走り、敦賀から舞鶴まで国道に行く。舞鶴から小樽まではフェリーに乗って船旅となる。翌 8/9 の 20:45 小樽港に到着してそのまま後方羊蹄山の麓に向かう。途中で行動食を買いながら麓のある半月湖野営場に到着、車の中で仮眠をする。翌日、早朝 4 時に起床準備をして倶知安コースのある登山口を出発する。天候は晴れである。樹林帯の中を歩いていく。やがてエゾマツ、ダケカンバの樹林になるがその中をひたすら進むと 6 合目に到着する。ここからさらに進むと 7 合目に到着。展望も開けてくる。ここから先は登山道脇にお花も見え隠れしている。8 合目からはガレ場の中を登っていくが、やがて 9 合目に到着した。ここからは頂上もすぐ近くにあることを感じながら景色を楽しみながら歩いていく。



10:30 頂上に到着。天候も良いのでお鉢めぐりをしてから下山することにした。最高点である喜茂別ピーク 1898m から火口縁を時計回りに回る。岩場で思ったよりアップダウンもあり 9 合目に到着するのに時間がかかった。9 合目からは登って来た登山道をそのまま下り半月湖野営場のある登山口に下りた。約 10 時間の登山だったが天候もよく気持ちよく歩くことができた。この後、ひらふ温泉で汗を流し北海道最北の稚内へと車で向かった。そして初山別にある道の駅で一夜を過ごすことにした。よく 8/11 は早朝に目を覚まし出

発稚内へと向かった。途中ラジオのニュースで静岡に大きな地震があったことを知りすぐに家に連絡を取り無事を確認。予定通り稚内に到着する。ここからフェリーで利尻島に渡り登山口のある利尻北麗野営場に向かった。暑い中を 1 時間ほど歩いて到着である。テントを設営してゆっくりするが明日は出発が早いので夜は早い時間に寝ることになった。

### 8 月 12 日(火)晴 利尻岳

1:45 登山口	7:30 頂上(1719m)
1:56 甘露水(水場)	8:42 9 合目
2:34 4 合目	9:30 8 合目(長官山)
3:40 6 合目	10:38 6 合目
5:25 8 合目(長官山)	11:30 4 合目
6:43 1500m	12:05 登山口

行動記録 深夜 1:00 に起床、準備をして懐電の準備をして登山口を出発する。今までの登山の中でこんなに早い時間に出発をしたのは始めてである。これにはわけがある。本日中に稚内に戻る計画をしていた為である。10 分ほど歩くと湧き水のある甘露泉に到着。おいしい水を補給して再び歩き始める。暗い中を懐電歩行で進んでいく。登山道は歩きやすく道なりに歩いていくのだが、やっと辺りが見えるようになってきたのが 7

合目のある七曲りに差し掛かったころである。さらに進んで8合目の長官山では天気もよく展望が開けている。利尻岳山頂も見えてきてここで一息つく。ここを過ぎて1ピッチで9合目に到着である。ここからは登山道は急斜面になっていて滑りやすく歩きにくい箇所が出てくる。そこを慎重に登っていくと、やがて頂上のある大山神社に到着である。付近はお花がたくさん咲いており。ここからの展望も絶景を楽しむことができた。しばらく頂上からの景色を楽しんだ後、下山を開始する。頂上付近の赤い火山礫の急な登山道を慎重に下り登ってきた往路を引き返した。そして、登山口近くにあったおいしい甘露水を汲んで野営場に到着。テントを撤収して駕泊に移動、フェリーに乗って稚内に向かった。稚内到着後、市内にある温泉で汗を流し移動する。偶然ではあるが今夜の泊まりは8/10と同じ初山別の道の駅で寝ることになった。ここはお風呂もありゆったりした気分で過ごせるいい場所である。



### 8/13日(水)曇り 暑寒別岳

6:00 登山口	10:50 頂上(1492m)
7:08 佐上台	11:50 8合目
7:50 4合目	12:40 6合目
9:40 8合目	13:43 佐上台
10:20 9合目	14:40 登山口

#### 行動記録

早朝に目を覚まし車で暑寒別岳の麓暑寒壮に移動した。登山準備をして6:00出発である。天気は曇りである。雨さえ降ってなければいい山行ができると思い暑寒沢コースを歩いていく。登山道は整備されていて歩きやすい。樹林に囲まれた登山道を延々と歩いていく。登山道脇にはきのこが顔を見せている。食べられるのか食べられないのかわからないが時折大きなきのこを目にすることもあった。



4合目を過ぎて傾斜もややきつくなり6合目からはロープのある箇所がでてきて傾斜もきつくなってきた。そこを抜けてしばらく行くと、8合目に到着である。霧の中で景色ははっきり見えないがはるか先に頂上らしき景色が見えている。さらに進むと1ピッチほどで9合目に到着、さらに、そこから30分ほど登ってやっと



頂上にたどり着いた。頂上付近はガスの中で強風が吹いていて全く景色は見え、早々に下山を開始する。8合目まで下りると風もおさまり、ロープの箇所は慎重に下りながら往路を下って行き登山口の暑寒壮に下りた。この後、ニセコに向かって移動するが、途中、国道沿いにある温泉に入って汗を流し、ニセコアンヌプリの麓、五色温泉登山口に移動して、本日の行動を終了した。

### 8月14日(木)曇り ニセコアンヌプリ

7:30 登山口
9:15 頂上(1309m)
9:45 下山開始
11:00 登山口

#### 行動記録



朝方、目を覚ましたが車の外は雨が降っていて、しばらく様子を見ることにした。7:00頃には雨も止み登山準備をして7:30に曇っている中を出発した。登山道は広く整備されており歩きやすい。20分ほど歩くと道幅がせまくなり傾斜もややきつくなってくる。登山道はしっかりしているが途中曇っていることもあり景色を楽しむことはできなかつたが2ピッチほどで頂上に到着した。山頂は広く避難小屋がある。ここで、しばらく休憩した後往路をそのまま引き返した。途中家族連れ、グループなどいろんなパーティと出会いました。下山後は五色温泉で汗を流して、食事を済ませ、フェリー乗り場のある小樽港に向かいました。そして、フェリーで舞鶴まで行き、8/16深夜刈谷に無事帰りました。

